

兵庫県稲美町  
町制施行  
60周年  
記念要覧



稲美町  
イメージキャラクター  
「いなっち」

# 稲美の 実り

人と緑のホームタウン いなみ



# 先人から受け継ぎ、 私たちの手で生み 育てて60年

昭和30年(1955)3月31日に加古村・母里村・天満村が合併。  
稲美町が誕生してから、平成27年(2015)で、60年を迎えました。  
豊かな水と緑と共に生きる暮らしを先人から受け継ぎ、これからも  
たくさんの実りが輝くまちであり続けます。

# CONTENTS

町制施行60周年	稲美町を見る	2
先人から受け継ぐ	恵みと憩いの実り	4
「住んでいくな」	暮らしの実り	6
協働でつなぐ	まちづくりの実り	10
おいしさ味わう	郷土の実り	12
風土の味広がる	安心とぬくもりの実り	14
まち人、築く	60年の実り	16
まちの記憶つながる	文化ロマン	20
実りつながる	稲美のイベント	22
人と緑のホームタウン	稲美町マップ	24
第五次稲美町総合計画	人と緑のホームタウンいなみ	26
	インフォメーション	28



## 町制施行60周年

# 稲美町を見る

### あゆみ

稲日野いなびのも行き過ぎかてに思へれば

心恋しき加古の島見ゆ

(柿本人麻呂・万葉集、巻3・253)

印南野いなみのの浅茅押し並べさ寝る夜の

日長くしあれば家は惚ぼゆ

(山部赤人・万葉集、巻6・940)

かつて「稲日野」あるいは「印南野」と呼称されていた水に恵まれない台地であったこの地域を、先人たちが切り

拓き、ため池や疏水を完成させ水田開発を進めてきました。

昭和30年(1955)に加古、母里、天満の3村合併時に、穀倉にふさわしい田園のまちとして、「稲美町」と名付けられました。

現在は基幹産業の農業のほか、阪神地域のベッドタウンとしても開発が進められています。



## 稲美町

### 位置・アクセス

稲美町は播磨平野東部に位置し、東は神戸市、南は明石市、西は加古川市、北は三木市に隣接し、南北6.5km、東西7.9kmで総面積は34.92km<sup>2</sup>です。最寄り駅のJR山陽本線土山駅・加古川駅に神姫バスが連絡し、最寄りインターチェンジは第二神明道路明石西インターチェンジです。



江戸時代初期に造られた県内最大の加古大池



先人たちは不屈の闘志で水の乏しいこの地を切り拓き、実り豊かな大地へと変えました。



飛鳥時代後期675年頃に築造されたと伝えられる県内最古の天満大池

## 地勢・気候

瀬戸内式気候に属するため、一年を通じて晴れの日が多く、雨の日は少ない傾向にあります。山林地帯は少なく、標高の最高地点は町北部の海拔92・2m、最低地点は町西部の海拔22・3m。東西にかけて緩やかな傾斜地であり、晴れた日には東に六甲山の山並み、南に明石海峡大橋、北に中国山地の山並みが望めます。まちの北部には草谷川、中央部には曇川、国安川、南部には喜瀬川が流れ、いずれも播磨灘へとつながっています。

## ため池と共に生きる町

稲美町は県内最大の加古大池、県内最古と伝えられる天満大池など、文化庁から文化的景観に選ばれた88力所のため池群と田園が広がる緑豊かな美しい自然に囲まれています。明治以降には悲願であった淡河川、山田川疏水の完成により水田開発が進み、稲穂に満ちた美しいまちの基礎が築かれました。現在ため池は人々の生活を支えると共に、自然観察やレジャーを楽しむ人々の明るい笑顔が集う、まちの発展と未来を示すシンボルになっています。



万葉の森



万葉の人々の心をふるわせた「いなみ野」。  
 先人たちはその台地を切り拓き、水を引いて、  
 稲美を緑豊かな田園のまちとしました。  
 その恵みと美しい景色を持つ故郷を  
 私たちは恋しく思うのです。



先人から受け継ぐ

# 恵みと憩いの実り



いなみ大池まつり



天満大池



いなみ野メロン



町花 コスモス



加古大池公園

曇川の桜並木と麦畑



天満神社 水上御輿渡御



いなみ野水辺の里公園  
「魚のおうち」



アサザの花

「住んでいくな」

# 暮らしの実り

稲美町は、その名のとおり美しい田園風景が特徴です。東は神戸市、南は明石市、西は加古川市、北は三木市に隣接していることから、住宅地や工業用地としても開発が進んでいます。平成26年(2014)には東播磨道の八幡稲美ランプから加古川バイパスまでの区間が開通し、幹線道路へのアクセスがさらに便利に。休日にはのどかな水辺空間を楽しむに多くの人が訪れています。

水と緑、人々の笑顔がいつぱいの稲美町の暮らしは日々「住んでいくな」であふれています。



# すくすく成長

## 健やかな出産、子育てをサポート

子どもたちが健やかに成長することを願い、子育て家庭へさまざまな支援を行っています。小学校就学前の子どもについては、医療費の自己負担額を無料とし、中学3年生までは一部を助成。赤ちゃんの誕生を祝い、特産米「万葉の香」(俵60kg)分の引換券(24000円相当)をプレゼントするなど、稲美町ならではの支援も進めています。



### 幼稚園での預かり保育

希望により、町内幼稚園に在園する園児を通常の保育時間終了後から午後4時まで延長して預けることができます。



### 放課後児童クラブ

町内で実施しており、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、家庭に代わる生活の場として、遊びや学習指導を行っています。



### 成長応援

#### 中学3年生まで入院時の医療費が無料

中学3年生までの児童・生徒について、入院にかかる自己負担額を助成しています。経済的に負担が大きい入院治療についても、安心のサポートで子育てを支援します。

### 子育て支援センター

育児について学びながら相談もできる「びよびよ勉強会」など、子育て家庭へのさまざまな支援を行っています。



### コスモス児童館

親子が自由に遊べる場を提供。子育てに関するイベントなどを行い、子どもの健康を増進し、情操を豊かにします。



### 稲美町立図書館

ボランティアスタッフによる「おはなし会」や赤ちゃんの4カ月児健診時の「はじめての絵本運動」など、本と子どもを結ぶ取り組みも盛んです。

## 子どもと笑顔になる楽しい遊び場

自然や生き物と触れ合うことができ、自然や生き物と触れ合うことができる「いなみ野水辺の里公園」など、誰もが安心して子どもを遊ばせることができる施設やイベントがそろっています。「いなみ文化の森」の中にある図書館では、「おはなし会」や「えほん会」などの催しや外で読書ができる図書館も併設され、近隣市町からも多くの人が利用しています。子育ての相談ができる子育て支援センターのほか、子育て中のお母さんや祖父母世代の人が企画運営するまちの子育て広場など、親子が笑顔になれる場所がたくさんあります。





# びのび生活

## 自然と調和する 安全で快適な暮らしの場

豊かな自然を活かした公園や広場は、住民の憩いの場であると共に災害時における防災拠点や避難所としても重要な役割を担っています。また医

療機関も充実しているほか、小児、重傷者対応の救急医療機関もそろっています。

まちの中心部では新たな定住人口の受け皿として、土地区画整理事業により、さらに住みよい宅地を形成しています。住宅補助への取り組みも進み、子育て世代が多く転入してきています。のどかなまちには、快適にのびと暮らす人々の笑顔があふれています。



### いなみアクアプラザ

プール・ジム・健康機器などがそろった健康づくり施設。子どもから高齢者、障がいのある方などそれぞれのニーズに合ったスポーツ振興プログラムを作成し、利用者の健康づくりをサポートしています。



### おいしい水道水

水道水の水源が主に地下水であるため、厚生労働省が示した「おいしい水」の指標を満たしており、「とってもおいしい」と評判です。



### 新築住宅などへの 補助金制度

特別指定区域内で新築・改築した家に居住する場合、「田園集落まちづくり住宅新築促進事業補助金」を受けられることができます。ほかにも町内出身者などの子世帯が町内に住宅を新築する場合に補助金を交付する「親元近居新築住宅取得支援補助金（親元に住もう補助金）」、住宅用太陽光発電システムの設置に要する経費に対して補助金を交付する「新エネルギー導入支援事業補助金」があります。





## いなみ文化の森、稲美中央公園、万葉の森

「いなみ文化の森」は、稲美町の生涯学習・文化振興の中心で、円形の図書館、四角形のコスモホール(文化会館)、三角形のふれあい交流館(公民館)があります。遊具や多目的グラウンド、野外活動センターなどがある「稲美中央公園」は、休日には多くの家族でにぎわいます。公園の近くにある「万葉の森」は約120種類の万葉植物が植えられ、四季折々の風情を楽しむことができます。



## いなみ野水辺の里公園、サン・スポーツランドいなみ

生き物と共生する環境をつくり、豊かな自然を呼び戻すことをテーマとした「いなみ野水辺の里公園」には、東播磨地域のため池や水路、河川に生息する魚などを展示している「魚のおうち」や、昆虫の標本・写真を展示している「学習展示棟」、水生動物や植物などがある「観察池」などがあります。また隣接している「サン・スポーツランドいなみ」は陸上競技だけでなく、サッカー、グラウンドゴルフなどにも利用できる多目的グラウンドです。

休日には森林浴ができる遊歩道や、遊具が数多くある稲美中央公園や、バーベキューサイトを備える天満大池公園などの憩いの場に、町内外から多くの人が訪れます。加古大池ではウィンドサーフィンなどを楽しむ人々の姿も見られ、みな思い思いの時間を稲美町で過ごしています。

ため池に整備された遊歩道を歩いてみると、水草や野鳥を目にすることができ、またまちには歴史が残る寺社、淡山疏水の遺構、広大な田園などがあります。春には、桜色に染まったまちを歩く「桜ウォーキング」が校区別に開催されるなど、ため池や川がたっぷりです水辺空間など緑豊かな地域資源は、住民の憩いの場、交流の場として活用されています。

憩いと交流の空間

いなみ  
元気



### スポーツ教室

膝や腰への負担を少なくするポールウォーキングや子どもの運動神経を良くするコーディネーション教室など、さまざまなスポーツ・交流を通じて、楽しく健康づくりができます。

## 地域内交流を引き継ぎ 活気あるまちへ

### 県

内最古のため池、天満池がある自然豊かな地区で、水草アサザの苗植えを天満東小学校の児童が行うなど、環境活動も盛んです。地域の新旧住民が日々交流を深め、行事が定着し、参加人員も増えてきています。正月明けに天満東小学校の運動場で行われる「どんど大会」も年々参加人数が増え、書き初めや餅焼きなどの日本の伝統行事に親しみながら、地域の結びつきを強くすることができています。



こころ豊かな  
まちづくり東  
(天満東校区)

大西 賢  
会長



## 人と人とのつながりで やさしさあふれる里づくり

### 稲

美町の中でも歴史ある母里地区は、ため池や水田が広がるのどかな所です。地域柄、人と人とのつながりは強く、新しいことにチャレンジしようという機運は高まっています。

特に「夏祭り(なつまつり)」は地区の代表的なイベントのひとつとして、年々にぎやかになってきています。こ当地ヒーロー友情戦隊モリレンジャーが誕生したほか、浴衣コンテストなどを開催し、幅広い世代が楽しむことのできるイベントを行っています。地区を越え、稲美町で活躍している若者の力を結集させ、まちづくりに取り組んでいきたいです。

## 協働でつなぐ

# まちづくりの 実り

地域愛と住民たちのつながりを強めたいという願いをもとに

稲美町では幅広い世代間の活動や交流が積極的に行われています。

そのひとつ、各小学校区にある「校区まちづくり委員会」は

それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりを展開しています。



母の里  
まちづくりの会  
(母里校区)

英 直彦  
会長



# 豊かな人間関係で 地域の子どもを育てる

**天** 満校区は、国岡を中心  
に新しい住民の方  
が増えている地区です。小学  
生を中心に人と人の絆を大  
切にし、地域の子どもを地  
域で育てていく中で、交流が  
生まれています。幼稚園、小  
学校の登園、登校時の横断  
歩道見守りやあいさつ運動  
などに取り組んでいます。

また「満天夕涼みの会」で  
は地域のチームや協賛して  
いる企業で出店や催しを行  
い、連帯感と信頼感を向上  
させています。今後はまちの  
特産品なども扱い、子ども  
だけでなく年配の方も、地域  
だけでなく稲美町全体がひ  
とつになれる機会を持ってた  
らと思います。



まちづくり  
天満  
(天満校区)  
藤崎 良平  
会長

## 今後さらに人と地域資源を 活かし、続けていく



なんなん  
まちづくりの会  
(天満南校区)  
池田 勝廣  
会長



**自** 然豊かな天満南校区  
では、昔から住んでい  
る方と新たにこの地に引っ越  
してきた方が半々に混じ  
り合っています。  
まちづくりの事務所は小  
学校内にあり、先生や生徒と  
地域の方々が密接に関わって  
います。天満南小学校の運動  
会では、校区の各自治会と先

生チームが競争する種目が  
人気で、子どもたちも大喜  
び。また通学路の梶ヶ池遊歩  
道は地域の方々が整備し、麦  
畑、稲田、コスモスなど季節  
ごとの景色を楽しむことが  
できます。  
豊かなまちにあるものを  
活かしたまちづくりを今後  
も継続、充実していきます。



## 自分たちに できる新しい 取り組みに 挑戦する

**委** 員会では立場の違う  
方々が意見を出し合  
い、まちづくりに取り組んでい  
ます。冬には、委員たちが考え  
た子どもたちが喜ぶ昔の遊び  
などの事業を行い、自分たち  
にできる新しいことを模索し  
ています。事業としては地域  
交流スポーツ大会が人気で、  
グラウンドゴルフなど、多くの  
方が楽しんでいます。また加  
古ふれあいまつりでは、ダンス  
や大鼓の演奏などを地域内外  
の方が発表してくださるので、  
みんな楽しみにしています。

昔からこの地に住んでいる  
方も多く、なかなか全員が交  
流する機会はありません。今  
後は若い方から  
高齢の方ま  
で参加いた  
だけのイベ  
ントの開催  
をめざして  
います。

まちづくり  
加古の会  
(加古校区)  
大松 十四彦  
会長



# 郷土の実り

おいしさ味わう

## いなみ野メロン

糖度の高さと味の良さ、細かいネットが特徴。おいしさを凝縮するため、一つの木に実を一つしかつけません。

糖度、食感、形状などをクリアしながら、安心・安全にこだわって栽培しています。



メロン生産者  
大村 信介 さん

## 桃

徹底して農薬を減らした安全でおいしい夏の味覚。



## ブロッコリー

歯ごたえがあり、旨味が凝縮されています。

誰もが安心して食べることができるよう、減農薬を心がけています。



キャベツ生産者  
丸尾 信夫 さん

## キャベツ

町で50年以上前から栽培されている冬キャベツは国の指定産地にも選ばれています。

## 白菜

大きく実がずっしり詰まった、稲美町の冬の定番野菜。



## スイートコーン

農薬の使用を減らし、体に優しく甘みたっぷり。



## トマト

酸味と甘味のバランスが良くジューシー。



## 稲美ブランド



稲美ブランド  
認証ロゴマーク

### 稲美町の産業を振興

町内で生産、収穫されたもの、またはそれを原料として加工、製造され、安全安心で品質にこだわった農産物などを、まちが「稲美ブランド」として認証。農業者及び商工業者の育成と生産意欲の向上をめざすと共に認証品の情報発信を積極的に推進していきます。堆肥を使った上質な土づくりや減農薬の取り組み、使用済み農業用資材回収の徹底など、環境にやさしい農業を推進していきます。

今後も、稲美町ならではの特産品を開発し、「稲美ブランド」の普及・拡大を図るよう取り組んでいきます。



稲美ブランドの商品は「ふぁ～みんSHOPいなみ」、6次産業化拠点施設「にしいろふぁ～みん」などで購入することができます。

# こだわりを詰めた稲美のごちそう

かつて荒野だった印南野台地に先人が水を注ぎ、この地は豊かな緑に染まるようになりました。稲美町はまちの名のとおり、稲穂をはじめとした農作物が実る美しいまちへと成長

かつては、米はもちろん、国の指定産地に選ばれているキャベツやトマトなどの農作物、みそなどの加工品など、まちの人々が丹精込めたさまざまな「実り」があふれています。

消費者のみなさんのことを考え、環境にやさしく、おいしい、安全安心なお米づくりをしています。



米生産者  
小山 和彦 さん

## 万葉の香(米)

稲美町土づくり組合がつくった良質な堆肥で栽培した町内産コシヒカリ。ふっくらした炊きあがり自慢です。



## たべてみそ

町内産の大豆を使用。手づくりならではのコクと香りがあります。



日本酒の伝統文化を守り手造りの良さを伝えたいです。

日本酒生産者  
井澤 孝泰 さん



## 井澤本家合名会社の日本酒

明治16年(1883)より酒造りの伝統を守り、満足感が得られる力強いコクのある日本酒を手作業で造っています。



## 米パン

町内産のヒノヒカリを100%使用。無添加で当日焼きの製品を出荷しています。

## おうちでつくろう

稲美町の郷土食  
ゆで干し大根のうま煮

### 材料

ゆで干し大根	60g
油揚げ	1枚
にんじん	30g
煮干し	10g
油	少々
さとう	少々
しょうゆ	少々

① 煮干しでだしをとる。

② ゆで干し大根は水に20〜30分浸けてもどし、5〜6cmに切る。にんじん・油揚げはせん切りにする。

③ のゆで干し大根を油で炒め、油揚げを加える。

④ のだし汁とさとうを入れてしばらく煮る。

⑤ しょうゆを入れ、にんじんも加え、煮含める。

完成



風土の味広がる

# 安心とぬくもりの実り

## 実りを活かす新たな挑戦

町内には、新鮮でおいしい野菜などが購入できる直売所や朝市などがあります。安くておいしく、安全な農作物を求め、地元の方はもちろん、町外からも多くの方が訪れます。

町内小中学校の給食には特産米「万葉の香」を取り入れ、まちの実りの魅力を子どもたちに伝えていきます。野菜もできるだけ町内産のものを使うなど、安心でぬくもりのある給食を提供していきます。平成27年(2015)11月にはJA兵庫南の大規模6次産業化拠点施設「じいろふあ〜みん」がオープン。農業体験ゾーンや新たな農業に取り組む人を対象にした研修農場も整備し、農業の未来の担い手を育てていきます。



### 食から学ぼう 小・中学校の完全給食

平成20年(2008)から7年連続で近畿農政局長賞を受賞。地元産の食材をふんだんに使い、栄養豊かな食事を提供しています。



### いなみマイ工房

地元の女性が経験や知識を活かして活動。無添加・地産地消にこだわり、町内産米を使った家庭料理や加工品を生産しています。



### 世界記録 達成!

稲美町のおいしい野菜を  
使って世界記録達成!



平成26年(2014)1月11日、町内外の参加者や兵庫大学、県立農業高校などの団体に協力いただき、稲美町の特産品である野菜を使った「いなっち」のモザイクアートを作成。その大きさ402㎡が世界一に認定されました。



すべて町内で栽培したキャベツや大根など、たくさんの野菜がいなみ野体育センターへ運び込まれました。



**ふあ〜みんSHOPいなみ**

町内産の新鮮な野菜が数多くそろっています。



**6次産業化拠点施設  
「にじいろふあ〜みん」**

近畿で最大級の農産物直売所、地元産食材をPRするレストランなどが平成27年(2015)11月にオープン予定。生産から販売、加工までを一体的に行う「6次産業化」の拠点として整備されます。



**朝市**

採れたての地元野菜、切り花などを農家が直接販売。生産者とのふれあひも生まれています。



**準備した野菜**

キャベツ	8,072個
紫キャベツ	2,007個
大根	5,382本
人参	6,804本
白菜	1,002個
トマト	505個
里芋	1,000個

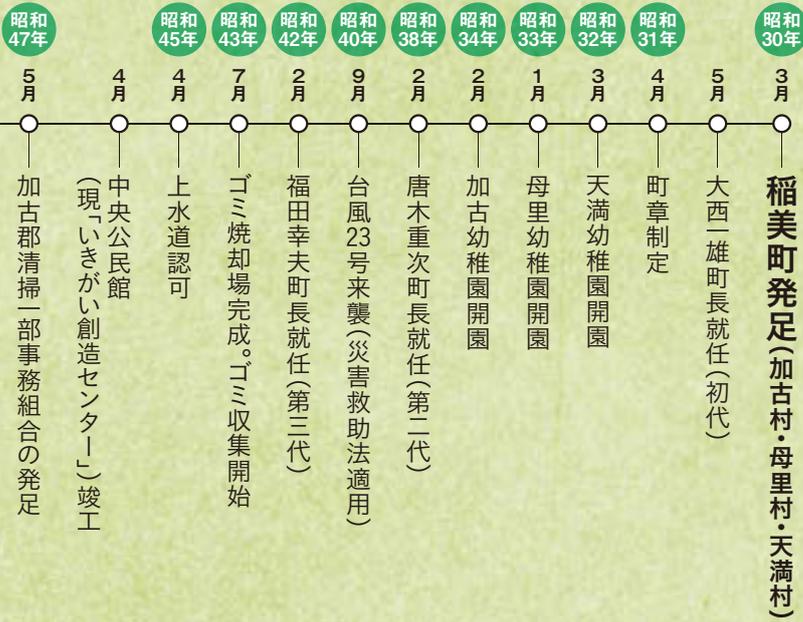


町内外から300人以上が参加。多くの人が協力し世界記録達成をめざしました。

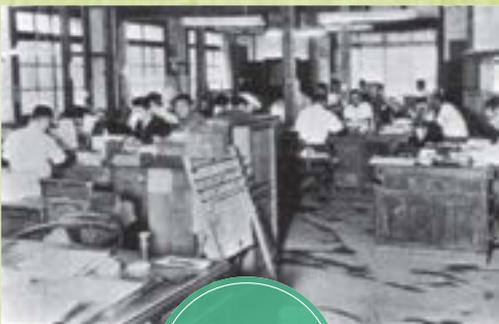
まち、人、築く

# 60年の実り

先人から引き継いだ土地と想いと共に60年。  
稲美で生まれ育った実りの軌跡を辿ります。



昭和40年代  
議会の様子



昭和40年代  
旧役場



# 1955~1989

- 平成元年 3月 大沢池スポーツ公園竣工
- 昭和63年 5月 万葉の森竣工
- 昭和63年 4月 天満大池公園使用開始
- 昭和62年 8月 農村環境改善センター竣工
- 昭和62年 2月 井上芳和町長就任(第四代)  
(現「いなみ野体育センター」)竣工
- 昭和60年 4月 稲美勤労者体育センター  
(現「いなみ野体育センター」)竣工
- 昭和60年 4月 稲美北中学校開校
- 昭和60年 7月 高菴寺球場使用開始
- 昭和59年 5月 老人福祉会館  
(現「総合福祉会館」)竣工
- 昭和59年 加古川東消防署稲美分署業務開始
- 昭和58年 11月 郷土資料館開館
- 昭和58年 4月 天満東幼稚園開園
- 昭和57年 12月 稲美町史を発刊
- 昭和57年 4月 天満東小学校開校
- 昭和55年 4月 天満南小学校開校
- 昭和53年 8月 町民憲章・町花(コスモス)・町木(もちの木)を制定
- 昭和53年 8月 役場庁舎竣工
- 昭和51年 5月 県立東播磨高等学校竣工
- 昭和51年 西部隣保館竣工
- 昭和50年 4月 稲美中学校開校
- 昭和50年 3月 母里・天満中学校閉校
- 昭和48年 4月 天満南幼稚園開園



昭和53年  
役場庁舎  
竣工



昭和44年  
まちの様子



昭和63年  
万葉の森  
竣工



昭和40年代  
乗合バス

まち、人、築く

# 60年の実り

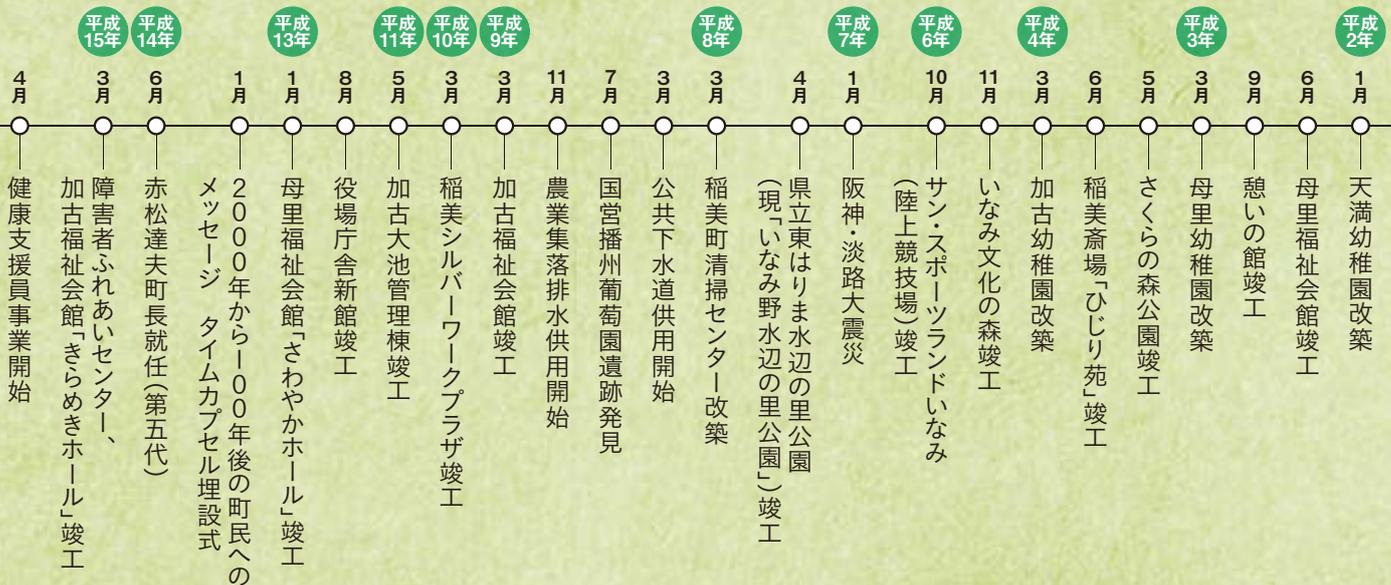
平成4年  
いなみ  
文化の森  
竣工



平成13年  
タイム  
カプセル  
埋設式



平成18年  
いなみ  
アクアプラザ  
竣工





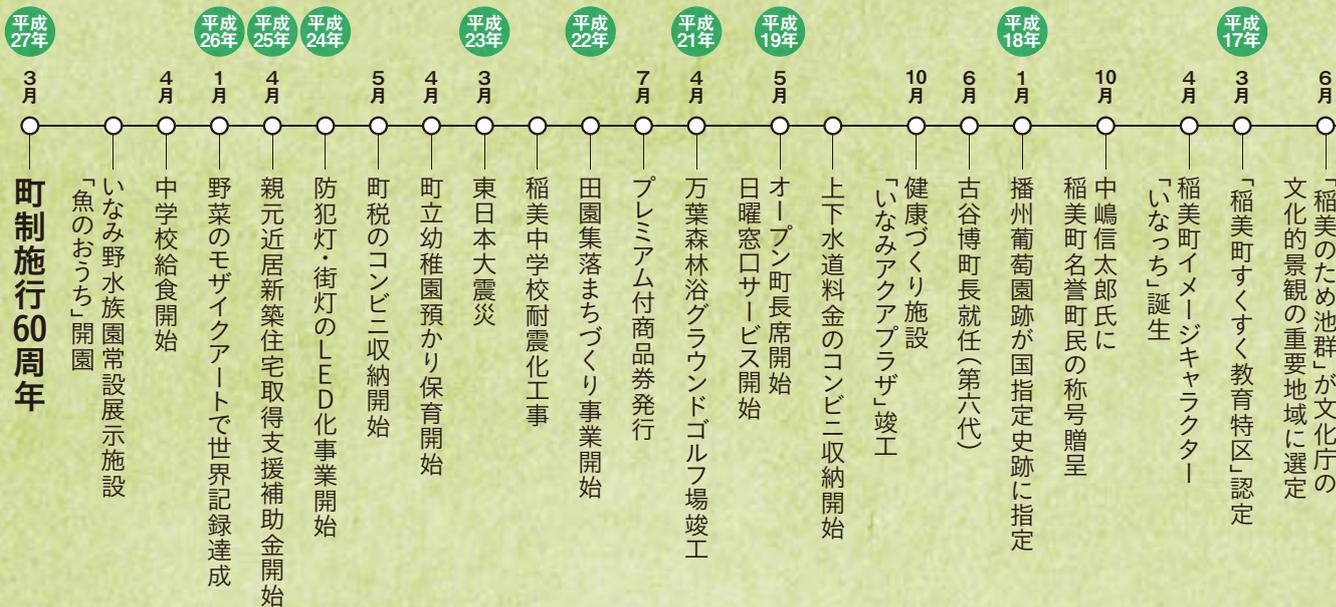
平成26年  
野菜の  
モザイクアートで  
世界記録  
達成



平成21年  
万葉森林浴  
グラウンド  
ゴルフ場  
竣工



平成26年  
中学校給食  
開始



まちの記憶つながらる

# 文化ロマン

「いなみ野」を切り拓いた先人の願いが

今もこの地には息つき

稲穂に満ちた美しいまちを実らせています。



高蘭寺鬼追式  
鬼の面

高蘭寺



## 高蘭寺 鬼追式

毎年2月に国家安泰悪魔退散を祈り、行われます。使用される鬼の面は赤鬼は毘沙門天、青鬼は不動明王をかたどったもの。二鬼が太鼓とほら貝の音に合わせて、燃えさかる松明を掲げて踊り、参拝客へ投げ入れます。



## 加古八幡神社

延宝8年(1680)造営の加古八幡神社では毎年10月に秋祭が行われます。地元の保存会によって継承されている伝統の獅子舞が有名です。

## 播州葡萄園歴史の館

当時の関連施設の材木の一部や発掘調査で見つかった遺物、写真パネルなどで播州葡萄園を紹介しています。



## 国指定史跡播州葡萄園跡

播州葡萄園は西欧式農法の試験と普及を目的に明治13年(1880)に開園された国営ワイナリーでした。地下室や井戸跡などの遺構、遺物が見つかり、日本の近代化の流れを伝える大切な事例の一つとして、約5万m<sup>2</sup>の区域が国指定史跡となっています。



木箱に入って  
出土した  
ガラス瓶





天満神社



## 天満神社 水上御輿渡御

毎年10月の秋祭りに御輿を天満神社から練り回し、天満大池に浮沈。池の中でも御輿を練り回し、五穀豊穡と満水を願います。



天満神社秋祭り  
獅子舞



## 天神曼荼羅

曼荼羅は三幅。室町後期に制作されたものと考えられ、菅原道真公の生涯をパズル形式に配置しています。町指定有形文化財(非公開)。

## 町の指定文化財

地蔵菩薩立像(国安).....	有形文化財・彫刻
五輪塔(国安).....	有形文化財・建造物
宝篋印塔.....	有形文化財・建造物
地蔵菩薩立像(御旅地蔵).....	有形文化財・彫刻
『天神曼荼羅』.....	有形文化財・絵画
カイツカイブキ.....	記念物・天然記念物
葡萄園池.....	記念物・史跡
五輪塔(中村).....	有形文化財・建造物
鳥居.....	有形文化財・建造物
野寺山高菴寺鬼追式.....	民俗文化財
『村方万事議定證』.....	有形文化財・歴史資料
播州葡萄園跡 園舎出土品.....	有形文化財・考古資料
『母里村難恢復史略(写本)』.....	有形文化財・歴史資料
『宮ノ谷以西加古郡印南新村草谷村間平面図』.....	有形文化財・歴史資料
『淡河川疏水線路全線縦断平面図』.....	有形文化財・歴史資料
石造阿弥陀如来座像.....	有形文化財・彫刻
『寛文六年蛸草神出境水論裁決状(絵図・裏書)』.....	有形文化財・歴史資料



## 住吉神社

宝永年間(1704~11)に印南地区の開発を担った嘉右衛門の氏神として勧請。以来、印南の住吉神社は、地区の神社として大切にされてきました。



## 草谷天神社

菅原道真公を祀る鎌倉時代の寛元2年(1244)建立。境内はさくらの森公園と呼ばれ、春には大勢の花見客が訪れます。

## まちを彩る四季の催し

秋になると五穀豊穡を願う神事が各地で行われます。豊かな自然環境を活かした催しも多く、ウォーキングやマラソンなどはもちろん、県内最大のため池、加古大池で行われる「いなみ大池まつり」の花火も人気です。

また、まちには都市部では失われつつある地域のつながりが残っており、各校区別の「桜ウォーキング」など地域の文化や土地を活かしたイベントが行われています。



### いなみ新春万葉マラソン大会

サン・スポーツランドいなみとその周辺コースで開催。会場では模擬店や抽選会もあり、新年の一日を楽しむことができます。

### 成人式



### 高菌寺 鬼追式



# 稲美の

実りつながる

1

いなみ新春万葉マラソン大会  
成人式

2

高菌寺 鬼追式

3

校区まちづくり  
桜ウォーキング

5

稲美ふれあいまつり  
平和祈念戦没者追悼式

6

トライやる・ウィーク

### 稲美ふれあいまつり

町民、各種団体、企業が丸となり、多くの模擬店やステージイベントでにぎわいます。

### 校区まちづくり 桜ウォーキング

咲き誇る桜を眺めながら、各校区  
の特色を活かしたコースを地域の  
みんなと歩きます。





**稲美町子ども会駅伝競走大会**

予選を勝ち上がった子どもたちが冬の訪れを感じる稲美町を走り抜けます。



**町内の秋祭り**

毎年10月に町内各地の神社で行われ、五穀豊穡を願います。



**いなみ大池まつり**

加古大池の中央部から花火が上がるので、水面にも花火が映し出され、ダイナミックで迫力があります。花火の音が体に響くほど。稲美町の夏の風物詩であり、町外の人も多く訪れ、にぎわいます。



**いなみ人権・福祉フェスティバル**

心のふれあう温かい人間関係を築き、お互いの人権を尊重する明るいまちづくりをめざして開催。講演や作文朗読などから、人権の大切さを学びます。

**稲美町子ども会  
駅伝競走大会**

**町内の秋祭り  
稲美町防災訓練**

**稲美町敬老会**

**校区夏まつり  
いなみ大池まつり**

**校区夏まつり**

**いなみ人権・福祉  
フェスティバル**

**I2**

**II**

**IO**

**9**

**8**

**7**

**イベント**

人と緑のホームタウン

# 稲美町マップ



桜の季節には多くの家族連れでにぎわいます

播州葡萄園はこのあたりにあったんだ

約120種類の万葉植物が楽しめるよ

## 役場周辺拡大図





自然と文化を満喫!

ため池がいっぱい!

ICも近くて便利!

天満大池は県内で一番古いため池と伝えられているよ

加古川市

加古大池公園

加古川市

役場周辺拡大図

明石市

天満大池公園

第二神明道路

八幡・稲美IC

県立加古川医療センターIC

384

381

明石西IC

65

146

84

東加古川駅

加古川バイパス

国道2号線

JR山陽本線

土山駅

天満神社

加古八幡神社

加古幼稚園

加古小学校

稲美北中学校

加古福祉会館  
「きらめきホール」  
障害者ふれあいセンター

稲美斎場  
「ひじり苑」

県立東播磨高校

大沢池スポーツ公園

西部隣保館

コスモス児童館

天満小学校  
天満幼稚園

384

円光寺

天満南小学校

総合福祉会館

稲美中央公園

万葉の森

稲美町役場  
いきがい創造センター

いなみ文化の森  
コスモホール  
ふれあい交流館  
稲美町立図書館

サン・スポーツランドいなみ

天満東小学校

天満東幼稚園

農村環境改善センター

天満南幼稚園

6次産業化拠点施設  
「にじいろふぁ～みん」

天満大池公園

天満大池公園

# 第五次稲美町総合計画

# 人と緑のホームタウン いなみ

万葉の豊かさを協働でつなぐ 活力あふれるまちづくり

歴史・文化が息づくホームタウンとして住民が誇りに思えるよう、  
住民と行政の協働により、活力あるまちづくりを進めていきます。



[上]防災訓練/[下]環境出前講座

**水** と緑にあふれる自然環境と調和した、快適で便利な居住環境の中で、人々が環境に配慮した暮らしを営むことができるよう、ため池をはじめとする自然景観の保全を推進しつつ、市街地の整備を進め、一層の利便性の向上を図ります。消防・救急体制の充実を図ると共に、地域・住民における防災・防犯活動も推進し、災害や犯罪のない安全で安心な生活が送れるまちをめざします。

1  
生活環境

自然と住環境が  
調和した  
安全で快適なまち



[上]町ぐるみ健診/[下]いきいきサロン

**誰** もが健やかに暮らせるまちをめざし、保健・医療・福祉サービスを充実します。安心できる環境の中で、住民一人ひとりがいきいきとした生活を送るために、地域における健康づくり、食育を推進します。  
また次代を担う子どもから障がい者、高齢者など全ての地域住民が互いに支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをめざします。

2  
健康福祉

誰もが健康で  
いきいきとし  
子どもの笑い声が  
響くまち

### 3 教育文化

人とひとの絆を深め  
子どもの夢と志を  
育てるまち

## 収

穫祭や地域の祭りなど家庭や地域を巻き込んだ特色ある教育活動を展開し、子どもたちが学校、家庭、地域の中で、社会人として必要な道徳心や郷土愛、確かな学力を身につけ、夢と志を持つことができるよう取り組みます。

また、スポーツや文化・芸術などの生涯学習を通じて、人々が豊かな自己実現を図ると共に、さまざまな交流により、住民同士が「絆」を深め、共に生きるまちをめざします。



[上]ALT授業/[下]いなみ夢づくり案内人

### 4 産業振興

地域の特性を  
いかした  
活力とにぎわいの  
あるまち

## 豊

かな農業資源や環境を活かし、ため池の整備、利活用を進め、魅力ある元気な農業をめざします。農業の6次産業化を推進し、「稲美ブランド」の認定など、本町の魅力を発信することにより、人が訪れ、人と人が交流するにぎわいのあるまちをめざします。

また勤労者をはじめ商工業に携わる全ての人が活発に活動し、活気にあふれるまちをめざします。



[上]ため池パトロール/[下]勤労者とのふれあい事業

### 5 住民協働

住民協働でつくる  
自立したまち

## 住

民、大学、企業と行政がまちづくりの情報と課題を共有し、連携・交流しています。信頼関係に基づき、互いに役割を分担し合いながら住民協働によるまちづくりを進めると共に、地域コミュニティが元気なまちをめざします。ホームページやBANBANテレビをはじめ、各種メディアを活用し、地域情報の提供を進め、住民のまちづくりへの関心を高めます。また、効果的・効率的な行財政運営に努め、自立したまちをめざします。



[上]協働まちづくり100人会議/[下]加古郡リサイクルプラザ

# インフォメーション



## 稲美町イメージキャラクター いなっち

稲美町の特産品である「米」をイメージし、額には町花「コスモス」、足元にはため池を配しています。



## 町章

稲美町の「い」を図案化し、「鍬(くわ)」と「鎌」を表しています。中央部は「稲の粉(もみ)」を意味し、まちの和と発展を象徴しています。



## 町花 コスモス

晩夏から秋にかけて素朴で清楚な花を咲かせます。性質はきわめて頑健で野生状態でも見事に開花する強い草花です。



## 町木 もちの木

町内の山林に自生。常緑の高木で、雌株には深紅のかわいい実がすずなりに生り、植木として親しまれています。

## 稲美町民憲章

(昭和56年4月3日告示第48号)

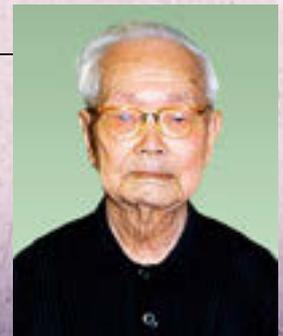
わたくしたちは、郷土いなみ野の美しい自然と伝統を受けつぎ、さらに時代の進展に応じ、お互いが協力して希望に満ちた住みよい町をつくるため、誇りと自覚をもって町民憲章を制定します。

- 1 わたくしたちは、お互いが教養を高め、品性を磨き心豊かな人となるよう励みましょう。
- 2 わたくしたちは、お互いが助け合つて仕事に励み生活が豊かになるよう努めましょう。
- 3 わたくしたちは、心とからだの健康をはかり、年よりは尊敬し、子どもは責任をもつて育て、楽しい家庭をきずぎましょう。
- 4 わたくしたちは、お互いが思いやりの心を持ち、秩序を守り、進んで世のために尽くして明るい平和な町をつくりましょう。
- 5 わたくしたちは、郷土の自然と人の心を守り育て工夫をこらして輝かしい文化の町といたしましょう。

## 名誉町民

### 中嶋 信太郎さん (1904-2007)

万葉研究家・国文学者・歌人として、稲美町のみならず県民文化の向上のために活躍されました。「万葉の森」の開園にも奔走され、稲美町の名所づくりにもご尽力いただきました。中嶋さんが収集された貴重な図書は稲美町立図書館においてご覧いただくことができます。





いぬいむし



稲美町長

古谷博

私たちのまち稲美町は、昭和30年（1955）に加古村、母里村、天満村の3村が合併して誕生しました。かつて万葉集に「いなみ野」と詠まれた水に恵まれないこの地を、先人たちはその英知とたゆまぬ努力によって切り拓き、ため池等を築いて農業を営んできました。そして平成27年（2015）3月、町の名のとおりに稲穂に満ちた美しいまちとして、60周年という記念すべき節目の年を迎えました。

兵庫県最大の貯水面積を誇る加古大池や、農林水産省から「ため池100選」に選ばれた県内最古の天満大池をはじめとした88のため池が点在するわがまち独特の景観は、文化庁から「稲美のため池群」として文化的景観の重要地域に指定されています。近年では神戸市、明石市、加古川市、三木市の4市に囲まれた地理的条件と田園が広がる美しい環境から、阪神地域のベッドタウンとして住宅開発が行われるとともに基幹産業である農業のほか、工業用地としても開発が進んでいます。

この豊かな水と緑、先人たちから受け継がれてきた歴史や文化を大切にしながら、第五次総合計画の基本理念である「人と緑のホームタウンいなみ」を未来像として、安全で快適な住環境のもと、人とひとが絆を深め、いきいきと暮らすことができるまちをこれからも目指していきます。



## 稲美の美り

兵庫県稲美町 町制施行60周年記念要覧

発行年月：平成27年(2015)9月

発行：稲美町

〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡1丁目1番地

TEL 079-492-1212 FAX 079-492-5162

<http://www.town.hyogo-inami.lg.jp/>

制作：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所